

不登校と進路

不登校という現象の原因はいろいろあると思います。いじめであったり対人関係が苦手であったりそれぞれ異なっているでしょう。しかし、学校に行くことができない。そのことによる不利益や将来に関する不安を持っておられることは共通しているのではないのでしょうか。まずはその不安を少しでも取り除いていながら本来の原因に対処していくというのも大切ではないかと思います。いつまでも原因の解決に力を入れていてもなかなか大きな壁であるときほど時間がかかってしまいます。

医療的な立場やカウンセリングの立場から言えばそれも仕方がないことではと思いますが、学校現場では子どもたちの進路保障も大切です。生徒の立場に立つことはもちろんですが、今の現状を肯定しつつ「何ができて何ができないのか」を明らかにし一人一人の要望に添った進路を考えていく。そのためにも本当に正確な正しい情報が必要不可欠です。週に一回しか行けなくても、他の人と一緒には授業が受けられなくてもその人にあった方法でできるのが通信単位定時制です。

学校は情報の拠点で、特に進路保障の情報が集積されています。しかし、学校に行けないことで、情報が得られないのであれば、正確な情報を他の方法で収集し将来に対する不安を払拭していくことや経験者からの体験を含めた意見交換・情報提供なども保護者会の重要な活動でしょう。

合同説明会などでいろいろな学校の説明を聞いてもらおうと共に、なるべく実際に学校訪問・体験をしてください。是非、自分の目で、生徒自身が見て、自分の将来を決めてください。高校は学習をするところです、たとえ学校に行けなくても学力をつける方法はいろいろあります。目標を決めて自分の方法でできる努力をしてください。しっかり努力をして進学したところは多少のきつさがあっても乗り越えられます。それは子どもが本当に行きたい学校だからです。できれば、行ける学校より行きたい学校に進学できるといいですね。